

# あるひ

家庭教育学級だよりVol.1~8  
はこちらからご覧いただけます



納場保育園 親子制作「写真コラージュ」

## 令和6年度 家庭教育学級活動報告



納場保育園「親子陶芸教室」



羽鳥保育園「ミニ畳作り」



四季の杜保育園「親子食育」



さくら保育園「親子陶芸・体育教室」



元気っ子幼稚園「親子プレスポ教室」



さくら第2保育園「親子クッキング」



竹原小「親子歯みがき教室」



羽鳥小「あさがおリース作り・南極教室」



# 訪問型家庭教育支援事業

## 「子育てサポーター」とお話ししてみませんか

子育てサポーターは、昨年度から合計18回の相談業務を行っています。相談業務では、子育てサポーター2名が1組となり、自宅か最寄りの公共施設などで実施しています。土日でも可能ですので、ぜひ子育てサポーターとお話ししてみませんか。

子育てサポーターは、相談業務に加えて、家庭教育学級や研修会などにも参加しています。



親子理科教室参加



家庭教育学級参加



PTA研修会に参加



子育てネットワーク委員会との交流



### 子育てサポーター

子育てサポーターは、子育て経験者、元教職員、民生委員、青少年相談員などの人材で構成され、家庭で子どもへの関わり方などに悩みや不安を持っている保護者の相談やお話を聞く支援を行います。

#### ～子育てサポーターに相談しての感想～

- こんなにも親身になり話を聞いてくれる方がいると思えただけで、本当に気持ちが軽くなりました。
- 子育てサポーターのみなさんは、本当に毛布のように温かく包んでくれるような雰囲気です。一緒に話しているだけで安心感があります。

## すくすく育て いばらきっ子 家庭教育応援ナビ



茨城県家庭教育応援ナビ



お子さんの気になる行動が見られるときには？  
気になる子どもの理解と支援  
講師：茨城大学 教授 新井 英靖 氏

#### 内容

入学前後のお子さんをもつ保護者の方に見ていただきたい内容です。

## おすすめ動画



幼児教育施設での遊びを通した学びとは？  
～幼児の主体性とは？～  
講師：玉川大学 教授 田甫 綾野 氏

#### 内容

3つの動画で構成されています。  
入学前後のお子さんをもつ保護者の方に見ていただきたい内容です。

# 愛の記録 第59集

令和6年度は、14名の方から「愛の記録」をご応募いただきました。皆様ありがとうございます。ご応募いただいた中から、教育長奨励賞1名、優秀賞8名の方が受賞いたしました。おめでとうございます。今回、県教育長奨励賞を受賞した猪野なつみさんの作品を紹介します。

## 県教育長奨励賞 受賞

### 「たからもの」

猪野 なつみ

我が家には6歳の娘と5歳の息子、いわゆる年子の姉弟がいます。1歳を過ぎて早くもお姉ちゃんになった娘は、弟のことをとても可愛がっています。私が出産を終え、病院から息子を連れて帰ったとき、娘は初めて見る自分より小さな存在を、大きな目でじっと見つめていました。しばらくすると、自分のおむつを持ち出して弟のクーパーに投げ入れました。「そのおむつは赤ちゃんには大きすぎるよ!」と家族と一緒に笑いましたが、言葉もまだうまく話せない1歳の娘は、すでに「お姉ちゃん」になったことを感じ取っていたのかもしれませんが。

時が経ち、もうすぐ生後8ヶ月を迎える息子は、かなりぶっくりした体型で、寝返りがうまくできません。見かねた姉は、泣いている弟をマットの上で一生懸命転がそうとしました。絶対に寝返りしたくない弟と、絶対に寝返りさせたい姉の様子は、今でも動画で見返すと面白いです。

それからさらに大きくなって、いつもの散歩道が道路工事でデコボコになっていた時のこと。転ばないようにゆっくり歩いていた弟の手を引きながら、「怖くないよ、大丈夫だよ」と、娘は力強くリードしました。また、ある夏の日、庭にコクワガタが現れました。興味津々の2人は、コクワガタを棒でつついたり、「何を食べるのかな?」と盛り上がっていました。しかし、息子がコクワガタに少し指を挟まれてしまい、大泣きました。すると姉はすかさず、「痛かったね?ここ挟まれちゃったね?でも血は出てないよ、よかったね!」と弟をなだめました。4歳とは思えないほどの母性を感じました。ちなみに私にも年子の妹がいますが、幼少期を思い返しても、こんなに優しいお姉ちゃんではなかったと思います。

しかし、こんなにも優しいお姉ちゃんでも、当然姉弟喧嘩はします。きっかけはたいてい、弟のしつこい絡みからです。そして、口の達者な姉に対してなすすべなく、最終的に弟が手を出し喧嘩に発展します。この日の喧嘩も些細なことでした。2人はニンテンドースイッチのマイクラフトというゲームが好きで、一緒に何かを作ったり、世界を探索したりして仲良く遊んでいましたが、すぐに揉め始めました。そして勢い余って弟が姉を叩いてしまい、姉は「ママ!」と私に訴えてきました。毎度のことなので、「たまにはやり返しちゃえば?」と言うと、娘は「そんなことしないよ、だって‘たからもの’だから。」と答えました。

怒った顔から出た言葉とは思えず、私は驚きました。「すごくおかつくけど、たからものだからかわいそうなのはしないの。」と娘は続けました。私は自分の幼稚さを恥じました。子育ては親育て、という言葉は本当にその通りだと痛感しました。すぐそばで話を聞いていた息子は、小さな声で「さっきはごめんね…」と謝り、しばらくすると、何事もなかったようにまた2人は仲良く遊び始めました。毎日喧嘩して仲直りして。姉弟はお互いにとって、たからものです。そして私たち親にとっても、子供の存在と子供が教えてくれること、一緒に過ごす日々はかけがえのないたからものです。



第2回

「液体窒素で-196度の世界を体験」



10月12日に、おもしろ理科先生の稲野辺滋先生による楽しい理科実験教室を実施しました。

液体窒素を使って、凍らせたバラやみかんを粉々にしたり、凍らせたバナナで釘打ちをしたりしました。

液体窒素によるアイスクリーム作りも大好評でした。



講師:稲野辺 滋先生

～参加者の感想～

- ・体感できる実験が楽しかったです。子どもたちが意欲的に実験に参加している姿が印象的でした。
- ・アイス作りに、子どもが大喜びでした。子どもには実験を通して、理科に興味をもつ機会になりました。



液体窒素投入

アイスクリーム完成



第3回

「パイシートdeお菓子づくり」



焼きあがったよ☆

12月22日に、いばらきコープ様と連携し、親子クッキング教室「パイシートdeお菓子づくり」を実施しました。

パイシートを好きな形に練り上げ、オーブンで焼き上げました。焼き上がった生地を生クリームでつなげ、親子で協力して盛り付けました。

最後には、みんなで美味しく食べました。



講師:いばらきコープ様

～参加者の感想～

- ・娘と一緒に作業ができて楽しかったです。なかなか家では時間がとれずにできないのでいい機会になりました。一緒のテーブルの方ともお話できてよかったです。
- ・とても楽しく参加することができました。まったく知らない方々との交流もでき、心よりうれしかったです。

お菓子完成



親子で盛り付け♪